

ぽぽぽ新聞

第14回 夏号
2007年8月発行

<http://www.newton-dr.com/0920453434/>

花火に夏祭りに、花で夕涼みに、よは夏本番ですね。
冷たいものばかりに目がいて夏バテしほように、
元気に楽しくこの夏をのりましょ。

花



百田歯科医院
百田 昌史



前々から友人に院内に生花を置いてみたらと言われていました。

思い切って、この7月から受付に生花を置くことにしました。一週間ごとに新しいもの
に替えてもらっています。やや贅沢な出費です。

第一回目は赤、白の薔薇に黄色、ピンクの洋蘭を中心としたアレンジです。あまり興味が
なかった私ですが、見ていると豪華な気分になり、何より癒されます。患者さんは余り
の美しさに本物が造花か受付嬢に尋ねられるようです。直接触って調べる方もいらしゃい
ます。

近ごろテレビでよく見かける霊能者は花は天界のもので魂もあり、何も言わず黙って美
しく咲いているところが人格のお手本とか発してました。

最近サービス産業だけでなく、どの業界もホスピタリティが意識されているそうです。
ホスピタリティとは「親切なおもてなし」。また一歩進んだホスピタリティとはサービ
スを超えて、本物の愛情の精神「心のこもったおもてなし」だそうです。

医療は学、技、施設はもちろん大事ですが、やはり皆さん周知のように患者さんへの愛
情をもって優しい心で接することでしょう。

私も患者さんも皆が花を見ることによってより優しくなれます。生花はうちの医院にと
って今後、必要不可欠な仲間になりそうです。



歯科衛生士
浦見の
メッセージ

「よく噛んで食べるとむし歯予防になる?」

歯やあごの健康を維持するためよく噛んで食べるとは
重要です。まずよく噛んで食べるとより唾液を分泌する

唾液腺が刺激され唾液を多く分泌することが知られています。

唾液にはむし歯や歯周病菌の増殖をおさえ免疫成分を含んでいて、カリウムゼリンを
多く結合したタンパク質が含まれています。これらの成分により歯質が再石灰化され強化
されて、むし歯菌の酸に対して抵抗力を発揮することができます。

またよく噛むと歯内の血行がよくなり、歯周病予防にもつながります。

あと、あごの発達にもよい影響を与えてくれます。満腹中枢が抑制され過食症になり
にくくなります。よく噛んで食べるとは、歯の強化、むし歯予防、歯周病予防にもつながるとともに
過食症をなくし、生活習慣病の予防にもつながるといえます。毎日の食事をよく噛
んで楽しく味わうことが健康の第一歩です。もちろん毎食後の正しい歯みがきは基本です。

